



産地の総合芸術祭

KUTANism

クタニズム

9/6金 - 10/14月祝

KUTANism 趣旨



北陸新幹線が石川県金沢市から県南部の加賀地方・福井県に延伸開業する2023年は、加賀立国1200年にあたる年。加賀地方に位置する能美市と小松市は、石川が世界に誇る伝統工芸・九谷焼の産地であり、この大きな節目の年を世界に羽ばたくチャンスととらえています。KUTANismはこのような背景をもとに生まれた一大プロジェクト。両市が協力して地域資源を活用し、“九谷焼/KUTANI”の世界発信と地域ブランド化に向け、さまざまな取り組みを進めていきます。

KUTANism とは



KUTANismは、日本を代表する伝統工芸「九谷焼」の産地、石川県能美市と小松市が共同で初開催する祭典です。古代から脈々と受け継がれてきた思想・哲学や、さまざまな自然の恩恵、時代の価値観や美意識を掛け合わせ、産地の総合芸術祭として“九谷焼/KUTANI”を世界に向けて発信します。

クタニズムは、5つの言葉をキーワードに各種事業展開を行います。



九谷饗宴
九谷焼と料理人でプロデュースする特別な食のイベント。



美 展覧会「九谷の現在」
能美市、小松市の2会場で各テーマをもった展覧会を開催。



贈 KUTANI FOR YOU
IT技術を取り入れ、人と九谷焼の新しい繋がりを生み出します。



巡 九谷さんぽ
学生ボランティアの案内で九谷焼の産地を楽しく巡り歩きます。



智 シンポジウム
市民参加型で能美市、小松市の九谷焼を軸とした将来を考えるフォーラム。

総合監修によせて



東京藝術大学大学美術館
館長・教授 秋元 雄史

九谷焼は、石川県に広域的に存在する焼物で、360年以上の歴史をもち、様々な技法や絵付様式によって発展し、今日にいたっています。

「九谷の現在」をテーマにした展覧会では、小松市の九谷セラミック・ラボラトリーと能美市の浅蔵五十吉美術館の二つの会場を使って、九谷焼の現在を概観し、伝統と個性が混ざり合う九谷焼の今日の姿を紹介いたします。

展覧会は、二部構成で、一つ目は、「カラフル・オーナメント・オブジェ・クタニ」と題して、九谷セラミック・ラボラトリーにおいて、これまでの技法や様式を自らの個性や表現に引きつけて制作する作家、窯元の作品を紹介いたします。二つ目は、「NEXT九谷」展と題して、能美市の浅蔵五十吉美術館において、伝統を引き継ぎつつ、緩やかに九谷の魅力を広げてきた作家、窯元の作品を紹介します。

ともに現代の九谷を代表する作家たちや窯元の作品が並びます。あらためて技法の多様さ、色彩の豊かさ、形態のユニークさなどを感じることができるといいます。「こんなに幅広い作風が存在するのか」。こんな感想を持たれることでしょう。現代の九谷をぜひお楽しみください。

いま 美 展覧会「九谷の現在」 9月6日(金)～10月14日(月・祝)

展覧会「九谷の現在」は、360年以上にわたって受け継がれている九谷焼の魅力を解き明かそうと、2つの異なるコンセプトで構成する展覧会です。ひとつは「カラフル・オーナメント・オブジェ・クタニ」と題し、表現性を追求した作家20名の立体作品を九谷セラミック・ラボラトリーで紹介。もうひとつは名工選「NEXT九谷」展。九谷焼の伝統や技術を継承しながら新たな価値創造に挑む作家43名の作品を浅蔵五十吉美術館で展示します。「表現する九谷」と「継承する九谷」、それぞれの切り口で現代の九谷の魅力を探ります。



上端伸也「風をさがしに」



柴田有希佳「百合文九角皿」

名工選「NEXT九谷」展

会場 浅蔵五十吉美術館
住所 〒923-1111 石川県能美市泉台町南1番地
休館日 月曜日(祝日の月曜は開館 翌日代休)
時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
入館料 【個人】大人:430円 75歳以上:320円
高校生以下:無料
【団体】大人:370円 75歳以上:320円
※団体は20名以上
9月3日～5日は準備のため臨時休館

「カラフル・オーナメント・オブジェ・クタニ」展

会場 九谷セラミック・ラボラトリー
住所 〒923-0832 石川県小松市若杉町ア91番地
休館日 水曜日
時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)
入館料 一般:300円 高校生以下:150円

「KUTANism」と「NEXT九谷」



能美市九谷焼資料館
館長 中矢 進一

能美・小松両市が連携し、伝統工芸の九谷焼を国内外に発信するプロジェクト「KUTANism/クタニズム」が立ち上りました。窯元や商店、製土所などが集まる両市をひとつのエリアとして発信するの狙いです。北陸新幹線県内全線開通を見据え、九谷を見る・買う・作る・使う・学ぶ、すべてを体験できるエリアとして更なるブラッシュアップが求められています。業界振興に加え、食や自然、アートを組合せ、一過性でなく未来に繋がるイベント、PR活動が展開されます。そのメインとなる展覧会のひとつが、浅蔵五十吉美術館で開催される、名工選「NEXT九谷」展です。

江戸前期の「OLD九谷(古九谷)」は、江戸後期以降の時代時代の「NEW九谷(新九谷)」との対比から生まれた呼称です。だとすれば「NEXT九谷」は、次世代の九谷焼を担う作家たちが創り出す作品の呼称にふさわしい。現代の名工らが認めた次世代の作家たちの作品四十三点の競演です。きつと飛躍のきっかけとなることと。ぜひご覧ください。

九谷焼業界の活性化に期待



石川県陶磁器商工業協同組合
理事長 東 浩一

芸術の秋、九谷の秋

9月は九谷陶芸村を中心に様々なイベントが開催されます。各種イベントに参加して九谷焼を満喫してはいかがでしょうか？

郷

九谷よこちよ

「美味しく九谷を楽しもう！」をテーマに、石川・福井の飲食店が九谷焼柄の紙皿で料理を提供します。

日時 9月21日(土)・22日(日) 10:00～16:00 ※ 荒天中止
会場 能美市九谷焼資料館前駐車場

KUTANI ナイトミュージアム

夜の静寂に包まれた普段とは異なる大人な雰囲気の中で、九谷焼作品を鑑賞できます。

日時 9月21日(土)・22日(日) 17:00～21:00 (入館は20:30まで)
会場 能美市九谷焼資料館、浅蔵五十吉美術館
入館料 【個人】大人：430円 75歳以上：320円 高校生以下：無料
【団体】(20名以上) 大人：370円 75歳以上：320円

ウルトラアート映像投影

九谷陶芸村のシンボルである「九谷焼ビッグモニュメント」に映像投影をして、フォトジェニックな空間を演出します。

日時 9月21日(土)・22日(日) 17:00～21:00
場所 九谷焼ビッグモニュメント前
※天候により中止となる場合があります。



ウルトラマン新作絵付け体験

円谷プロダクションが監修したリアリティのある九谷焼素地に絵付けができます。

日時 9月21日(土)・22日(日) 9:00～17:00
場所 能美市立九谷焼陶芸館
価格 ウルトラセブン 1,300円
ゴモラ 1,400円
キングジョー 1,600円
※絵具代は別途必要

九谷焼アクセサリ「Wear KUTANI」特別販売

女性作家による女性のための九谷焼アクセサリ「Wear KUTANI」を特別販売します。

日時 9月6日(金)～10月14日(月・祝) 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
会場 浅蔵五十吉美術館



智

シンポジウム「KUTANI と加賀國 1200年」

能美・小松両市のイメージの要となる「九谷焼」を地域ブランドとしていかに世界に発信するべきか、九谷焼作家や識者が今後の方向性を展望します。

日時 2019年9月15日(日) 14:00～17:30 (開場13:30)
会場 こまつ芸術劇場うらら小ホール
入場料 無料
定員 250名

第37回九谷陶芸村まつり(秋の茶碗まつり)

9月21日(土)～23日(月・祝)
約30店舗が陶芸村内に出店。普段使いかから作家ものの商品まで、お値打ち価格で販売します。お気に入りの商品を探しに来てはいかがでしょうか？(関連36ページ)



「九谷ネイル」体験

ロケーションの美しい浅蔵五十吉美術館で、伝統工芸「九谷焼」の絵柄を身に着けられる特別な体験。繊細な赤絵細描の模様が手爪に描かれる様子を、目の前で見る事ができます。

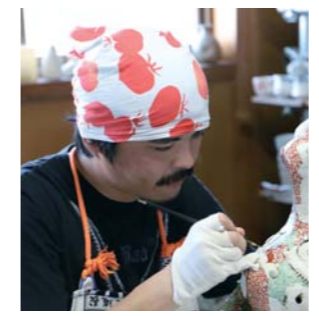
日時 9月6日(金)～9:00～16:30
会場 浅蔵五十吉美術館
体験料 1,000円(ネイル1本)
※要事前予約【☎58-6789】
※都合により予約をお受けできない場合があります。

美

展覧会「九谷の現在」

名工選「NEXT 九谷」展 出展作家紹介

今回、能美市で開催される本展覧会には43名の次世代を担う作家の皆様が作品を出展します。どの作品も個性に溢れ、観る人を魅了します。その中からここでは3名の作家を紹介します。



ふな き だいすけ 船木 大輔さん

市外出身ですが、能美市に工房を構え作陶活動しています。能美市は作陶活動に適した環境というだけでなく、地域の交流が密で子育て環境がいいですね。引越したばかりのころ、近所の方が気さくに声を掛けてくれたのはうれしかったです。今回の展覧会への参加については、大変光栄で良いチャンスを感じたと思っています。私の作品は幼少期に見た映像や体験など自分の中に培われたものを掘り起こして形にしています。例えば、動物や赤ずきんなど、分かりやすいものをモチーフにすることで、幅広い世代の方に九谷焼を楽しんでいただけるのではないかと考えています。クタニズムを通し、新しい九谷焼の可能性が見い出され、焼きも全体の裾野が広がってほしいなと思います。



船木さんの作品



あり せ れい こ 有生 礼子さん

私は赤絵細描という技法を用いて作品を作っています。赤絵の魅力は一目で分かる緻密さと、見せ方によって伝統的にもモダンにもなることだと思います。その赤絵細描技法を用い、「九谷ネイル」や「Wear KUTANI」といった女性作家が中心となって活動するプロジェクト(7ページに詳細あり)にも参加しています。県内イベントのほか、首都圏、最近では海外でも上絵付けや九谷ネイルを講演する機会がありました。その場でお客さんの喜ぶ姿や反応が見られるのはうれしいですね。少しでも九谷焼業界が盛り上がる力になり、市内への観光誘致のきっかけになればと思います。クタニズムに参加していただくことで、伝統を守りつつ今までのイメージを覆す新しい風をきくと感じることができると思っています。これまであまり九谷焼を知らなかった方が興味を持つきっかけにもなればと期待しています。



有生さんの作品



さとう つよし 佐藤 剛志さん

もともとは一般企業で働いていましたが、「手に職を付けた方が人生面白いのでは」と思い立ち、市内の陶磁器産業で実務経験を積みながら、石川県立九谷焼技術研修所の実習科で陶技を学びました。また、別で水墨画も学び、石川県立九谷焼技術者自立支援工房を経て、現在は能美市九谷焼担い手職人支援工房に入所しています。支援工房はお客さんが訪ねてきて直接会話できるというのがいいですね。九谷陶芸村内という組合や陶器業者との距離が近く、バイヤーとの取引もしやすい立地にあります。地元業者との結びつきはやはり大切だと思います。研修所の卒業生を見てきて、良い技術を持った若い子がたくさんいるなと感じています。若い作り手の定着が重要だと思いますので、クタニズムもそれにつながってほしいなと思います。



佐藤さんの作品